

進路指導室から 第369号

はじめに

4月7日(木)に、本校76回生の入学式が行われました。彼らの表情から、ようやく高校生になった安堵感とこれから始まる高校生活への不安感が伺われました。まずは、学校生活に慣れることが大切です。そのためにも、最初から無理をせず、余裕をもって生活を送るよう心がけてもらいたいと思っています。

「進路のしおりの配付」について

本校では、毎年、「進路のしおり」を作成しています。「1・2年生用」と「3年生用」の2種類があり、年度当初に、配付しています。「1・2年生用」の最初の内容は、「順調な高校生活のスタートを切るために」です。以下のようにまとめています。参考にしてください。

1. 中学校と高等学校の違い

- ① 授業の科目が増えて、内容も多岐にわたり、かつ高度なものになります。また、授業のスピードは中学校時代より圧倒的に速くなります(特に、数学・英語では2倍以上とも言われています)。
- ② 2年生以降は、選択授業が中学校時代とは比べものにならないほど増えてきます。
- ③ 自分が進む進路を具体的に考え、各自の進路実現のために進学先や、就職先を選び、それに向けて各自が努力していかなければなりません(高校進学のとくとは比べものにならないほどの、多くの選択肢が待ちかまえています)。

2. 授業を生かすための予習・復習

中学校までは授業を聞いているだけで理解ができ、定期考査でも好成绩が取められていたのに、高校に入って授業についていけなくなったり、テストで点数がとれなかったりという人が必ず出てきます。陥りやすい症状とその対策をまとめたので、参考にしてください。

- ① 「中学時代のように、平素はあまり勉強しなくても試験期間にまとめて勉強すれば大丈夫と思っていたが、テストの答案が返ってきたらひどい得点であった。」

(対策) 高校の内容は「一夜漬け」の暗記型では対応できません。その都度理解したうえで学習していく必要があります。平素きちんとしておけば、試験前は短時間の復習で整理できます。

- ② 「授業の進度が速すぎたり、難しすぎたりで授業についていけないことが多くある。一生懸命努力しているのに、授業でわからないことがある。」

(対策) 特に1年の数学、英語、国語(古典)でこのような声が出てきます。英語、古典については、授業の予習を欠かさず行うことが大切です。予習は高校の授業では不可欠であり、その重要度は中学校時代と大きく異なります。また、授業中にわからなかったことは、周囲の友人や担当の先生に質問して、必ずその日のうちに理解することが大切です。特に数学ではこの復習が理解の定着の鍵です。考査前にまとめて質問して復習しようとする人がいますが、多くの人が先生に質問に行くので、じっくり教えてもらえるとは限りません。

- ③ 「授業中は理解しているつもりだが、いざ試験になるともう忘れてしまってまったく解けない。」

(対策) 授業が終わったその日のうちに復習することが大切です。どんな人でも時間の経過とともに忘却していきます。その日のうちの復習がその後の理解の定着に大きく関わります。

- ④ 「思うように覚えられない。集中できない。」

(対策) まず、集中できる環境を整えているか見回してください。きちんと机に着いて学習していますか。机の上には、マンガやゲーム、テレビやスマートフォン、鏡など気が散るものが置いてありませんか。学習できる環境を整えましょう。

3. 学習と部活動との両立のために

部活動は高校生活をより豊かにするために意義あるものです。しかし、クラブに入っている生徒の多くが学習時間の確保に悩んでいるのも事実です。以下のことを心がけて学習と部活動を両立してください。

- ① 早く帰宅する……部活動終了後、だらだらと更衣・片付けをしたり、途中で寄り道をしたりしては家庭学習時間の確保は難しくなります。
- ② 帰宅後、できるだけ早く学習に取りかかる……帰宅してから就寝するまでの限られた時間をどれだけ有効に使うかが勝負です。1分でも早く学習に取りかかるリズムを作りましょう。なお、早く起きて朝食前や、早く登校

してSHR前の時間を活用している先輩もいます。

- ③ 密度の濃い学習をする……ある程度慣れてくると、今まで時間がかかっていたことが短時間でできるようになってきます。集中力を高めましょう。
- ④ すきま時間を上手に利用する……行き帰りの交通機関、休憩時間など、ちょっと空いた時間を上手に利用して、単語を覚えたり、数学の問題を解いたりしてください。一回一回は少ない時間でも大きな力になります。「ちりも積もれば山となる」です。
- ⑤ 休日を利用する……大会前などを除くと、休日にはゆとりがあるはずですが、予習や課題をしっかりと時間をかけて行える機会でもあります。基町高校では、土曜日の午前中を学習の時間として位置づけており、部活動は原則としてありません。土曜日の午前中を有効に使いましょう。
- ⑥ 長期休業を活用する……夏休みなどの長期休業中は、それまでに学習してきたことを復習する絶好の機会です。各教科からの課題を計画的にこなしましょう。また、長期休業中には希望者補習が数多く実施されるので参加しましょう。

4. 大学受験も授業の延長線上にある

みなさんの中には、中学校時代に塾で受験対策をしていた人も多いと思います。3年生になって、受験用の教材をひたすら覚えていくことで入試をクリアした人もいると思います。しかし、大学入試では科目が増え、内容も高度になりますから、1年生の時から地道に学習して基礎力を養っておく必要があります。さらに、大学入試では思考力を必要とする問題も多く出題され、どの教科も暗記だけでは対応できません。それならば、中学校時代のように「受験勉強は塾で」と考える人もいるでしょうが、その前に授業を100%活用することを考えてください。基町高校では授業の中に受験の対策が十分盛り込まれていますので、1、2年生の間は授業内容を徹底的に理解して、定期考査に向けた学習をきちんとすれば、必ず大学受験に必要な基礎力が養われていきます。3年生になっても、授業の中で受験対策をしていきますので、授業での学習がすなわち受験勉強になるのです。

また、長期休業や土曜日、放課後に、補習授業も計画されています。学校の授業以外のことに手を出すのは、授業を100%消化できるようになってからで十分です。ちなみに、大学入学共通テストの範囲については1、2年生のうちに理科、地歴・公民を除くほとんどが終了します。

5. 模試の活用

平素の学習をより効果的にするために、模擬試験を十分活用することも大切です。基町高校では1、2年生で年間6回程度の全国模試を受験しています。模試を受験する目的は、自分の実力を全国レベルで計り弱点を知ることにあるのですが、その受け方によって、実力を効果的に高めることができます。

- ① 模試受験の前に既習内容の復習を、計画的にしておきましょう。とくに、過去に出題された問題が各教科から配られた場合は必ずそれを解いて、疑問点は解決しましょう。また、定期考査などでできなかった問題も再度取り組みましょう。
模試は復習・整理の絶好のチャンスです。
- ② 当日は、問題をよく見て時間配分・問題を解く順序をあらかじめ考えてから解答しましょう。また、丁寧な文字、正しい漢字を使用して、誰が見てもわかる答案を作成しましょう。
- ③ 解答が配付されたら、直ちに自己採点をし、解説をよく読んで復習しましょう。できなかった箇所は必ず解決しましょう。また、問題冊子をきちんとファイルして、次回の模試に役立てましょう。
- ④ データ返却後は、偏差値や順位、志望校の判定だけではなく、弱点を確認して、次回の模試へ向けた学習目標・計画を立てましょう。

「日本学生支援機構大学予約奨学金説明会（3年生対象）」について

4月25日（月）の放課後に、本校講堂で、「日本学生支援機構大学予約奨学金説明会（3年生対象）」を行います。日本学生支援機構大学予約奨学金には、「給付奨学金（返済不要）」と「貸与奨学金（返済必要）」があります。校内での説明会は今回のみとします。日本学生支援機構大学予約奨学金の活用を検討されている場合は、必ず、説明会に参加してください。

終わりに

先日、スーツを身につけた女性に「先生」と声をかけられました。その姿に思い当たる節がなく怪訝な顔をしていると、名前を名乗ってくれたのでようやくわかりました。3年間部活動を通して関わってきた卒業生でした。大学の入学式を終えて帰宅途中とのこと。その変わりように、ただただ驚きました。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）